

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)				区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E142E014		近代文学演習 (Seminar in Modern Japanese Literature)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	4	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 藤原 耕作 E-mail fujiwarakosaku@oita-u.ac.jp 内線 7533											
授業の概要	学生が、一人一作品を担当し、調査・研究してきたことをレジュメにまとめ、発表する。それをもとに、全員で意見交換する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 太宰治作品についての研究発表を通じて、近代文学概論で学んだ調査・研究の手法を実践する。																	
目標2 研究発表をもとに、全員で意見交換、議論できるようになる。																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 はじめに 今期の予定 太宰治について 演習発表の仕方 担当決め																	
2 雪の夜の話																	
3 東京だより																	
4 凡例 貧の意地(新釈諸国噺)																	
5 大力(新釈諸国噺)																	
6 猿塚(新釈諸国噺)																	
7 人魚の海(新釈諸国噺)																	
8 破産(新釈諸国噺)																	
9 裸川(新釈諸国噺)																	
10 義理(新釈諸国噺)																	
11 女賊(新釈諸国噺)																	
12 赤い太鼓(新釈諸国噺)																	
13 粋人(新釈諸国噺)																	
14 遊興戒(新釈諸国噺)																	
15 吉野山(新釈諸国噺)																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	課題と演習発表による知識の定着・確認。				工夫 その 他の											
	B:意見の表現・交換	演習発表による意見の表現、それを受けての意見の交換。															
	C:応用志向	レポートによる意見の表現。															
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	取り上げる作品を読み、疑問・感想・意見などを課題にプリントに記入する。															
	学修	演習発表の準備をする。(30h)															
	事後学修	演習での意見交換を受けて、あらためて作品を読み直し、疑問・感想・意見などを課題のプリントに記入する。(15h)															
教科書	ちくま文庫版『太宰治6』(筑摩書房、1989年)																
参考書	筑摩書房『太宰治全集』全13巻(1989年~1992年)・山内祥史編『太宰治著述総覧』(東京堂出版、1997年)他																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	課題	20%															
	演習発表	40%															
	レポート	40%															
注意事項	なし																
備考	なし																
リンク																	
	URL																